

福岡市ホームページにおける ウェブアクセシビリティ確保 の取り組み

令和4年3月16日

福岡市

市長室広報戦略室広報課 村上玄生

本日の内容

- ① ウェブアクセシビリティのサポートソリューション『FACIL'iti』(ファシリティ) の導入

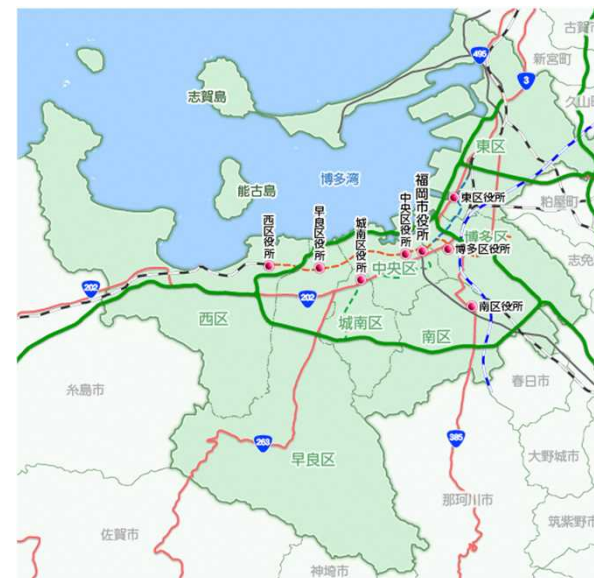


- ② アクセシビリティ向上の専任職員を雇用
- ③ 広報研修で当事者意識を醸成

その前に | 福岡市（役所）のご紹介



- 人口 約161万人
- 職員数 約9千人(注1)
- ホームページ



👉 公開中のページ 約2万ページ

👉 月間ページ更新数 約3千ページ

👉 月間アクセス 1千万~2千万ビュー

(注1) 校長・教員、会計年度任用職員は除く

- ホームページの運用
 - ✓ 各部門がそれぞれ事業内容を掲載
 - ✓ 広報課は全体運用管理
 - ✓ ホームページ運用担当の係は4名(注2)
 - 一般的なウェブアクセシビリティ対応
 - ✓ 機械翻訳・読み上げ・文字サイズ変更 に対応
 - ✓ CMSによるJIS規格(注3)の準拠チェック
 - ✓ 職員研修
- (注2) 会計年度任用職員を含む
(注3) JIS X 8341-3 : 2016

本日の内容①

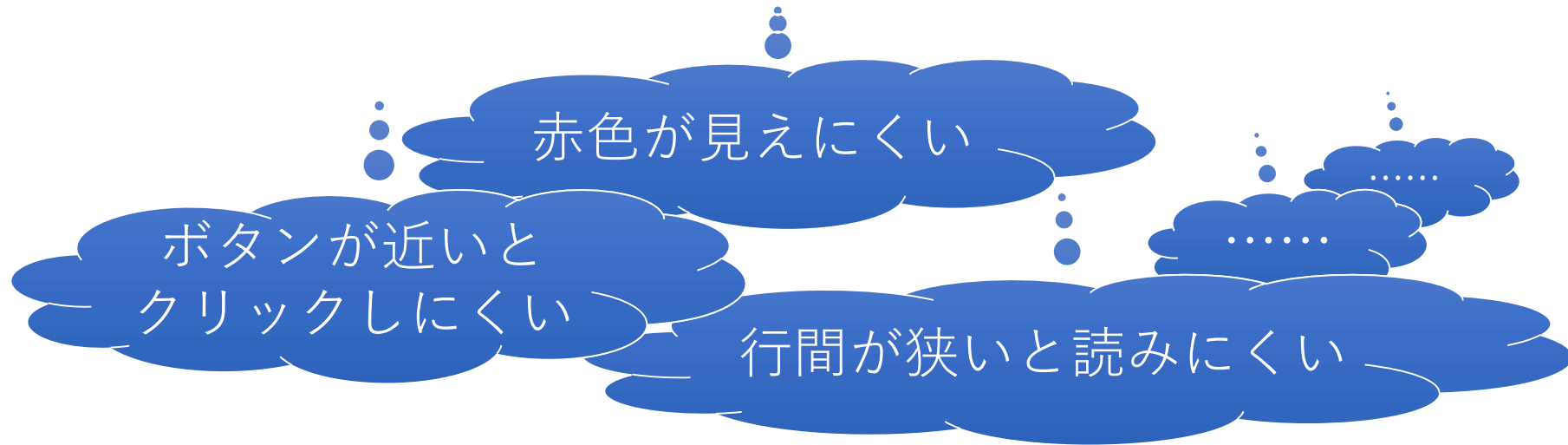
- ① ウェブアクセシビリティのサポートソリューション『FACIL'iti』(ファシリティ) の導入



- ② アクセシビリティ向上の専任職員を雇用
- ③ 広報研修で当事者意識を醸成

① FACIL'iti の導入 | 以前の課題

● 見にくさ・使いにくさは人によってさまざま



● 一つ一つを改善していくのは大変

- ✓ 機能改修？仕様は？
- ✓ サービス追加？どう選定する？

① FACIL'iti の導入 | 対策

- ホームページの見やすさ、使いやすさを個々のニーズに合わせて調整できるサービス

FACIL'iti (ファシリティ) を導入

(2021年3月～)



The screenshot shows the Fukuoka City website interface. At the top, there is a navigation bar with the Fukuoka City logo and various utility links. A red dashed circle highlights a menu item labeled '見やすさ、使いやすさを調整' (Adjust visibility and usability), which is the entry point for the FACIL'iti service. Below this, a red callout box contains the text 'ここから設定' (Settings from here). The main content area features a large banner for online appointment services, with text such as '引越し手続さは、オンライン予約が早くて便利!' (Moving procedures are convenient with online appointments!).

① FACIL'iti の導入 | 主な効果

- 20以上の典型的なお困りの内容を選択することで
見やすさ・使いやすさを自動調整
 - ✓ 「パーキンソン病」「1型色覚」「白内障」「ディスレクシア」
「ダークモード」「ブルーライトカットモード」など
- 文字サイズや色・コントラストの変更だけでなく、
リンクの反応範囲の拡大、アニメーションの停止、
文字間・行間隔調整などにも対応
(詳細設定で好みに合わせた個別調整も可能)
- 設定内容は端末に保存され、他のサイトとも共有可能

① FACIL'iti の導入 | 適用時のイメージ

通常

視覚
(白内障)

動作
(手の震え)

認知
(ハイライト機能
+ 文字間調整)

① FACIL'iti 導入 | 今後の課題



- 利用者数の伸び悩み
 - ➡ ウェブアクセシビリティ自体の認知度向上や
利用者の声の収集
- フォント変更機能は日本語フォントに未対応
 - ➡ 2022年に追加予定
- 画像やPDFなどには対応不可
 - ➡ コンテンツ自体のアクセシビリティ向上が必要

本日の内容②

- ① ウェブアクセシビリティのサポートソリューション『FACIL'iti』(ファシリティ) の導入



- ② アクセシビリティ向上の専任職員を雇用

- ③ 広報研修で当事者意識を醸成

② 専任職員 | 以前の課題認識



- JIS基準をチェック可能なCMSを導入
…だけど、機械的なチェックだけでいいの？
 - ✓ 無視していい警告、無視しちゃいけない警告
 - ✓ 冗長で分かりにくくなることも
- 一般の職員で個別チェックするにも限界
 - ✓ どんな職員が配置されるかは時の運
 - ✓ 繁忙期にはチェックに手が回らない(予算、議会、災害...)

② 専任職員 | 対策

- アクセシビリティ改善の専任職員(会計年度任用職員)を雇用

他の事務作業に忙殺されない

一定のスキルを期待できる

- ➡ サイト内を巡回し、基準と照らし合わせて内容も踏まえた改善をしていく
- ➡ 必要に応じて各部門に連絡を取り、指導・教育を実施

② 専任職員 | 今後の課題

- 毎回、同じような指摘が多くキリがない
 - ➔ CMS機能改善でよりきめ細やかなチェック
 - ➔ 広報担当者全体のスキル底上げ

本日の内容③

- ① ウェブアクセシビリティのサポートソリューション『FACIL'iti』(ファシリティ) の導入



- ② アクセシビリティ向上の専任職員を雇用

- ③ 広報研修で当事者意識を醸成

③ 広報研修 | 広報教育の課題

- 操作方法や事例をいくら説明しても
なかなか職員に必要性が響かない

面倒なのに意味が
あるのかな……

目が見えないのに
どうやってホームページ
を読むの？

対象者にいるかわからないし……

③ 広報研修 | 課題分析

- なぜ響かないのか
 - ➡当事者の声を知らないから

- それなら当事者の声を聞いてみよう！
 - ➡視覚障害者福祉協会の理事を招いて研修実施

③ 広報研修 | 対策

- 研修の中で、当事者としての声を講演、パソコン操作も実演してもらう

➔ 職員アンケートの結果でも高評価

視覚障がい者の立場に立ったHPの見え方や利用方法が具体的に分かってとてもよかった

視覚障がい者の方の実演は非常にインパクトがあり、良いHPのイメージが湧いたので大変わかりやすかった

PDFデータが視覚障がい者にとって情報を得づらいものだとの話を受け、考えさせられた

まとめ

コンテンツの作成

研修により作成する職員
スキルを底上げ！

コンテンツのチェック・
改善

専任職員によるチェッ
ク・改善！

コンテンツの公開

ソリューションによる
サポート！

ご清聴、ありがとうございました。